

6 月に及び派遣留学が終わりを迎えようとしています。特に 2 回目のホームステイ以降はこちらの生活にもすっかり慣れたらしくあつという間に過ぎた感じでした。すごく楽しく充実した日々を送ったためか、もう少しだけアメリカにいたい気持ちもあることも事実です。今回の報告書では、授業、今月のイベント、まとめについて記述します。

授業

先月末に Jo Cone(ELC の副校長)さんからアカデミックコース(専門科目)を受けてみないかと言われました。残り 1 か月だし、そんなに内容は理解できないだろうけど、アメリカの大学の授業がどんなものであるかを見るにはちょうどいいと思い受講することにしました。受講した科目は、電気学科のメカトロニクスです。クラスは 15 人程度です。途中からということもあり、さすがに難しかったように思います。でも、アメリカの大学の授業がどんなものか見ることができて良かったように思います。一方、ELC の授業では、どの科目も期末試験を終えて、すべての科目の単位を修得することができました。留学期間中は、そんなに体調を崩すこともなく、ELC での授業は無遅刻、無欠席でした。

今月のイベント

ELC では、Asian New Year Hall Party というイベントが行われました。それは Asian New Year(旧暦の 1 月 1 日)を祝うという意味で中華料理を食べるといったイベントです。そのほかにも RIT では、その Asian New Year を祝っていくつかのイベントが行われたようでした。また、I-House メンバーでスキーに行きました。前回よりは、かなり上達したように思いますが、まだまだのようです。

まとめ

RIT にたどりつけるのだろうかと不安を抱えて日本を離れて 6 か月が経ちました。最初は、言葉、食事をはじめとするさまざまなことに戸惑いを感じましたが、I-House の友人や ELC の職員の方にさまざまな場面で助けてもらいました。留学中よく自分の留学生活がどうであったかよく考えていました。ELC や I-House で開催するイベントには積極的に参加し充実した日々を送っていたと同時にたくさんの友人もできました。JCT でも夏に KIT に来ていた学生に再会できただけではなく新たな友人もできました。そのほかにも 2 回の長期休みには、アメリカの家庭にホームステイをしたことは貴重な体験だったと思います。そのようないいことがあった反面、留学当初は、とくに聞き取りに苦労していました。その関係でさまざまなことがうまく行かないということがありました。簡単な内容は聞き取れるようにはなったものの I-House で行われるミーティングなど話が長くなるものに関しては最後まで完全に理解することができませんでした。会話に関しても簡単な内容なら話せるのですがどうしても深い話をしようとすると言葉が出てこない。一番の心残りは、アメリカの大学の授業をまともに受けることができなかったことです。アメリカの大学の授業を受講することが留学の目的の一つただただ残念でした。しかし、私にとってこの派遣留学はうまくいかなかったこと楽しかったことなどそれらすべてをひっくるめて充実した日々だったことに違いはありません。この経験をこれからの人生に生かしていきます。

このような機会を私に与えてくれた、札野教授、留学について私がいかがいことがあったら丁寧に答えていただいた国際交流室の方々、何かと英語についてお世話になった野村講師、何かと気を使っていた河合講師や友人達、私の留学したいという気持ちを嫌々ながらも受け入れてくれた両親、その他の大勢の方の協力があったからこのような大変貴重な経験ができたのだと思います。本当にありがとうございました。